

10月の園だより

平成21年10月1日 発行 おぼやし保育園

体育の日

秋風が心地よく、さわやかな毎が続いています。運動会をきっかけにして、子どもたちもますます活発になってきました。鬼ごっこやボール遊びなど、子どもたちは戸外遊びが大好き！ 運動には最適なこの時期に、どうぞご家族と一緒に、体を動かす楽しさをたくさん感じとっていただけたらと願っております。保育園では運動会が終わっても体をいっぱい動かして戸外遊びを続けていきます。

今月は、運動会、おもほり、徒歩遠足など子どもたちが大好きな秋のイベントがいっぱいです。

保育参加アンケートについて

6月の保育参加のアンケートでは貴重なご意見・ご要望をいただきありがとうございました。ご意見・ご要望等に関する対応は掲示板にて報告いたします。今後とも忌憚のないご意見をお願い申し上げます。



衣替え

朝晩冷え込むようになり、衣替えの季節を迎えました。夏の間ですっかり大きくなった子どもたち。秋冬物が小さくなっているかもしれません。衣替えの際には、ぜひお子さんにお手伝いをさせてあげてください。小さくなった衣類や、まだ着られる服などを実際に見ることで、自分の成長を感じるとともに、物を大切に感謝する気持ちを育てていけたらいいですね。衣類には必ず名前をつけてください。



10月の目標

ヒヨコ	・秋の自然に触れて遊ぶことを楽しみましょう
ウサギ	・秋の自然に触れながら散歩をしたり体を動かすことを楽しむ。
すみれ	・秋の自然にふれ親しむ。 ・友だちと遊びながらつながりを深め、ひろげていく。
さくら	・保育者や友だちと一緒に、ルールのある遊びや運動を楽しむ。 ・身近な自然に触れたり自然物を取り入れて遊ぶ中で、秋の自然に興味や関心を持つ。
うめ	・友だちと一緒にいろいろな遊び、活動に取り組み自分の力を十分に発揮して充実感を味わう。

10月の行事予定

- 2日(金) 運動会準備
12時降園 午後：希望保育(2時まで)
- 3日(土) 運動会
- 8日(木) 交通安全(道路の歩き方)
- 15日(木) 内科検診
(園医)加藤胃腸科外科 中町隆史先生)
- 16日(金) 避難訓練(11:45 地震)
- 20(火)~22日(木) 保育参加(もも組)
- 27日(火) お誕生会
- 30日(金) 徒歩遠足(秋の散策)

※天気の良い日にさつま芋ほりをします。(13日~16日を予定)

- 10月7日までに、
- ・長靴(または大人用の古いソックス)
- ・ビニール袋



をご用意ください

お知らせ

・芝生の養生

運動会終了後、芝生の養生と冬芝の種まきの為、約1カ月程芝生内(園庭中央のみ)の立ち入りを禁止します。

・運動会の開催時間について

近年温暖化の影響か、9月になっても暑い日が続いています。体力的にも子どもたちが運動会に無理なく参加し、競技に集中できるよう今年の運動会から午前中みの開催といたします。(これは保育園の生活のリズムと同じです。)



10月生まれのおともだち

おたんじょうびおめでとう!

8日 おかだ とわくん(6さい)

18日 とよだ なおとくん(5さい)

24日 とよだ まりんちゃん(3さい)



運動能力を育てる! 親子のエクササイズ

ドッキング体操の
支持力&逆さ感覚が身につく!
『逆立ちロボット』

子どもの能力を育む ワンポイントコラム

9月号のアメンボジャンケン同様、支持力が鍛えられます。子どもがおとなの足の甲を押してからだを支えることがポイントなので、「足を押して」と声をかけてあげてください。逆上がりで必要な逆さ感覚も身につきます。子どもの手を踏んでしまったり、バランスを崩すことがないように、しっかりと足を支えてあげましょう。



子どもの手をおとなの足の甲にのせた状態で、おとなは片足ずつゆっくりと動かして前へ進みます。ロボットのような履音を声に出し、親子の動きを合わせるとよいでしょう。10歩、歩いたら大成功!

子どもは逆立ちをししながら、手をおとなの足の甲に置き、押しつけるようにしながら、からだを支えます。

第7回 小学校へつなげる生活習慣 協力して作ろう!

文・増田時枝

子ども同士で協力し合う遊びや活動は、小学校に進学してからの「協同的な学び」の基盤につながります。子どもたちが遊びをとおして成長していく姿を見守っていきましょう。

年長組になってから、お子さんたちの遊びや活動が、昨年と比べて、かなりダイナミックになってきていることに、おうちの方たちもおどろかれています。おどろかれないようにしましょう。

おどろかなくても、かーくんやうちゃんとその仲間たちが、避難訓練の日に、園庭に来てくれた本物の消防自動車に接触したり、乗せてもらったりした感動から、みんなで相談して、消防自動車作り挑戦することになりました。

段ボール箱を友だちといっしょに運んで、重ねるときに押さえ合ったり、細かい部分は図鑑を出してきて調べたりしています。試行錯誤しながら、工夫を重ねて、みんなの知恵と力を結集させ、ついに見事な消防自動車を作りあげました。

完成した消防自動車に満足して

達成感を味わい、自分たちが十分に遊んだあとは、小さい組の子どもたちを招待して乗せてあげるなどして遊びます。消防自動車作りという活動の中で、お互いが意見を出し合ったり、ひとつのイメージを作りあげ、ひとりではできないことを助け合ったり成し遂げました。そして、相手のよさや特性に気づき、関りが深まり広がっていったのです。

数人の子どもたちが始めた遊びに、次々とほかの子どもたちが加わり、遊びが発展していく過程でひとつの目的が生まれ、やがて、学級全体の活動へと集約していくことがあります。個人や少数人数では味わえない、このような協同的な遊びや活動は、小学校での「協同的な学び」へとつながっていくのです。